

# JAPAN NOW

## 観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第41号 発行日2006年07月25日

### Contents

金沢で講演会、10月は北海道で	1
須田、金澤氏が講演	2
JN講演会第2部が、かほく市で	3
今村昌平監督を悼む	4
JN協会5年の歩み(抜粋)	5
霞が関情報(岩屋議員)	6
観光人国記(角市長、つば甚)	7
立教支部便り	8
森カメラマンから、COLUMN	9
お得な情報(美味しい話など)	10
提言(観光基本法)、アメリカ通信	11
気象の話、会員名簿	12



「金沢21世紀美術館」。古都金沢に平成16年10月、市役所前にオープンした。ガラスをふんだんに使ったユニークな建築で、開放的な印象がある。展示は、国内外の近現代の美術作品中心。画面左上方の森辺りが名高い兼六園。

### 北陸新幹線は8年後に金沢まで開業へ

#### フォーラム盛況 中部の交流人口の増加を

JAPAN NOW観光情報協会は7月14日、金沢市の金沢スカイホテルで「魅力溢れる大中部圏の現状と将来」と題した観光立国フォーラムin金沢を開き、富山、石川、福井の北陸3県など幅広い分野から約200人が参加。

JN協会の松尾理事長、水野北陸支部長の主催者挨拶に続き、杉本

石川県副知事、山出金沢市長、有野北陸信越運輸局長、小田北陸経済連合会観



光委員長がそれぞれ来賓として挨拶、北陸新幹線の早期開業と中部9県の広域観光の重要性を強調した。杉本副知事が谷本知事の挨拶を代読、「北陸の交流人口を増やすためにも北陸新幹線の金沢開業と中部9県の広域観光の推進が不可欠」と訴え、山出市長も「新幹線や航空、高速道路の広域交流圏の整備が必要であり、JN協会に期待したい」と述べた。

このあと、講演会に移りJR東海の須田相談役は中部9県の広域観光について講演し「内外の交流人口を増やすため地域の特性を生かした体験・学習・長期滞在型の新しい対応が必要」と述べ、鉄道運輸機構の金澤理事は「北陸新幹線の金沢開業は8年後になる」との見通しを示した。(講演要旨は2面)

### かほく市で、地元主催で講演会第2部も

15日には、JN協会北陸支部の主催で「食・心・動」の三育による「住みよいまち創り」をテーマに講演会が開かれた。会場のかほく市・河北亭に120人が集まり、松尾理事長らが講演した。支部主催のシンポジウムは、初めてのことである。(3面に詳細)



### テーマは道州制導入や新千歳空港の整備

#### 10月に観光立国フォーラムin札幌

JAPAN NOW観光情報協会は、今年度後半もイベントを積極的に展開するが、10月には北海道支部(支部長・坂本JR北海道会長)や北海道観光連盟(我孫子会長)との共催で観光立国フォーラムin札幌を開催する。

テーマは小さい政府と地方分権の強化を狙った道州制の導入、新千歳空港の国際線旅客ターミナルビルの整備、農業と観光に焦点を当てる。

### リニア試乗会は9月に実施へ

希望者の多いJR型リニアモーターカーの試乗会は、9月に山梨リニア実験線で行う予定。9月から10月にかけては、JN協会北陸支部(金沢)の協力により横浜市で港ヨコハマの魅力体験イベントを開き、富山県高岡市を会場にしたセミナーも予定している。

## 中部9県の広域観光を展望する

須田寛・JR東海相談役

### 今後の観光の方向 まず国内観光の充実



中部各県との連携で、広域観光の展開を図る作戦を進めている。富山、石川、福井、滋賀、岐阜、三重、愛知、静岡、長野の9県。

今後の観光は、まず広域観光、そして今政府が目指している国際展開である。その観

点で見るととき現在の国内観光は低迷していると言わざるを得ない。海外からの訪日客は673万人、日本から海外へは1700万人であり、その観光収支は3兆6,000億円の赤字となっている。これでは「国際交流」ではなく、“国際一方交通”と言わざるを得ない。

国際交流、すなわち海外からの訪問客を増やすには、どうすればいいか。まずは、国内観光の充実をはかることが大切。既存の伝統的な観光地は、横ばいか微減となっている。マイカーをはじめ交通手段が多様化し充実、人々の行動半径が広がっているのに、受け入れ側が対応しきれず、ミスマッチが生じている。ここに、広域観光という観点を取り入れる意味がある。

外国人に来てもらうためにも、国内客の増加を目指す既存観光地の活性化が必要だ。体験ツアー、学習ツアー、長期滞在型ツアーのような地域の特性を生かした観光の展開が求められている。

### 弱い海外への発信力

外国人の誘客というが、外国への発信が弱い。外国の世界旅行の案内書10点を調べたが、日本に関する部分はわずかだし、トンチンカンな案内になっているケースが多い。外国人が好み、求めるようなメニューに乏しく、観光の国際競争力を失っていると言わざるを得ない。

国内にしても、金沢へ何回も来るといふ人は、そうは多くない。そこで、9県の観光資源を組み合わせる、あるいは産業観光と名所・旧跡の組み合わせなどバリエーションをつけていく必要がある。

それが、広域観光の狙いであり、海外客にも通じる道だと考える。晴れた空と太平洋、雪の日本海の対比といった自然の妙をみせる、瀬戸、九谷など焼物の産地巡りなど、工夫すれば相乗効果が狙える。

### 100のモデルコースづくり

いま、9県で作った連絡会議では、100くらいの広域観光モデルを、9月をメドに作ることで作業を進めている。その成果を、国内そして海外へと情報発信をしていきたい。いまは9県は、ゆるやかな連合で歩き始めたところ。各地で、それぞれの特色を出し補完しあうような新たな観光資源を作り出していくことが肝要。

北陸新幹線は2015年に金沢にまでのびてくるが、こうしたインフラを活かしていくようなテーマごとの資源開発を心がけたい。人材育成、地元の人たちが地元をよく知り説明できるようにしなければ。

## 新幹線が地域発展の力ぎ握る

金澤博・鉄道運輸機構理事



「東海道新幹線が無かったらいまの日本経済はない」とまで言われています。それほど、新幹線開通がもつ地域へのインパクトは大きいのです。

北陸新幹線は、平成26年度末の金沢延伸を目指して工事が進んでいます。

その効果の一端を見ましょう。

平成9年に開通した長野新幹線（北陸新幹線）の場合、利用客は40%増えています。東北新幹線の盛岡 八戸間も50%増、九州新幹線に至っては、鹿児島中央駅 新八代で140%も増えています。

最大の理由は、時間短縮です。九州新幹線では在来線で2時間10分かかっていたのが、35分に。

北陸新幹線（東京 金沢間）でも、越後湯沢乗り換えで4時間前後かかっているのが、面倒な乗り換えなしで2時間30分。小松空港を使った空路に遜色ありません。とくに、長野 金沢間は、いまの3～4時間が、なんと1時間10分に革命的な短縮が実現するのです。長野県民が金沢へ押しかけるのではないのでしょうか。金沢までの延伸がもたらす経済効果は、数千億円にも上る、あるシンクタンクが試算しています。

さて、金沢から大阪へのルートはどうなるか。これには敦賀 米原ルートと小浜ルート（湖西回り）が検討されていますが、新幹線が通るだけで千億円級の地元負担がかかるので、「停車駅が出来なければ意味が無い」と反対する向きもあります。フリーゲート方式とか、在来の湖西線でどこかで乗り換える（プラトホームtoプラトホーム方式）ことも考えられますが、難しい問題を抱えています。最終的には、地元の人たちの選択に委ねることになるのかもしれません。

### 地元マスコミが大きく取り上げる

金沢で2回目となるJN協会のフォーラム。初回は4年前、北陸支部発足に合わせて行った松尾道彦鉄道建設公団総裁（当時）の北陸新幹線の見通しを語る講演会。400人が集まった。

今回は、北国新聞、北陸中日新聞をはじめとする有力地元新聞・テレビが、大きく報道した。北国新聞は、二日間にわたって、北陸中日新聞は大きなスペースを割いて詳細な記事を載せた。

## 『観光立国』で支部主催の講演会 松尾理事長ら、4人が講師

7月15日、金沢市に近い「かほく市」の河北亭で、JN協会北陸支部が中心となる講演会が開かれた。テーマは『食・心・動の三育による街おこし』で、松尾理事長ら4人の専門家が、それぞれの分野で講演。「住みよい街づくりが、観光立国に繋がる。街づくりには、心身ともに健全な住民の力が不可欠」との観点から、テーマが選ばれた。

7月14日、金沢市で開いた「観光立国フォーラム in 金沢」に続く集会で、JN協会としてもはじめての支部手づくりの講演会となった。



講演会は午後1時スタート。冒頭、北陸支部の中核となる『郷土発展振興会』の副理事長・高村磨有(まり)さんの太極拳演技でオープニング(写真:右欄)。続いて、白澤照雄JN協会副理事長が、協会の活動状況を説明、「リニアカーの見学会へどうぞ」と、開会の挨拶。引き続いて、松尾理事長が「観光立国による街おこし」と題して、次のような講演を行った。

これに先立ち、来賓として登壇した小山良一・かほく商工会会長が「観光はまちの発展を目指す商工会にとっても、大事なテーマ。この街を単なる通過点で終わらせたくないよう、このフォーラムを機に頑張りたい」と歓迎の挨拶。

### 皆で頑張る観光振興を！

#### 松尾JN協会理事長

我が国は、総理自ら観光立国を打ち出している。就任以来、施政方針演説で連続して強調された。歴代総理の中でも、初めてである。

観光は、食・泊・交通・産業すべてに関係する大きな波及効果をもち、21世紀のリーディング産業といわれる。いまでも24兆円産業といわれるが、波及効果を考えると55兆円とも試算されている。雇用吸収力も大きい。470万人という雇用は、日本全体の雇用の7%にも上る。

こうした経済への波及効果以外にも、観光が持つ効果は大きい。

一つは、国民生活にゆとりを与える。逆に言えばゆとりの無い生活からは観光は生まれない。

つぎに、街おこしに繋がる。地域振興の切り札にもなりえる。

国際的には、国民同士の交流で相互理解が進み、平和に役立つ。

さて、この土地に来て、西田幾太郎記念館を訪れ

てみた。立派な施設であり、もっと活用することを考えたらいいと思った。

改めて強調したいが、観光振興の基本は、そこに住む人たちが住みよい環境をつくり、ウエルカムの心で外来の客に接することにある。

石川県では、能登島、加賀市が『観光ルネッサンス』事業の対象になっており、小泉首相お声かけの『観光カリスマ』に加賀屋の小田さんが選ばれている。

観光環境の整備には10年計画が必要とも言われているが、北陸新幹線の金沢入りは8年後。まだ時間があるので、『郷土発展振興会』のみなさんとともに、じっくり頑張る欲しい。

### 「食・心・動」の三育で、三氏が講演

引き続き、食の世界で次々と新商品の開発を進めている(株)ウィルサーチの若山祥夫社長が「食育による街おこし」と題して、正しい食生活のあり方、独力で開発したサプリメントについて講演。

プロスポーツ選手の体のケアで有名な杉野史宣氏が、壇上に参加者を呼び上げ、正しい体の動かし方、筋肉の使い方を指導。その効果に、参加者は感心しきり。



高村さんの太極拳

このあと、ヨガの指導者である島村美穂子さんら3人が、休憩時間を使ってイスに座ったまま実践できる「チェアーヨガ」を披露、講演に疲れた聴衆の体をほぐした。

最後に、国際指導者協会日本ブロックの会長である加藤照母光(あかり)さんが「風水による街おこし」を語った。石川県は、東京から見て北西の方角に当たり、気が満ちている、といった内容。街も家も人も、風通しが良くないと繁栄しない。風水を生かした街づくりと取り組みたい、と述べた。

### ダイアナ妃に送られた「打掛」

会場の入り口に、『打掛(うちかけ)』が飾られていた。1986年、中曽根総理時代に、ダイアナ妃に贈られた製作費3億円といわれる打掛を、日本画家で染色家の東聖観(あずま・せいかん)さんが支援者の協力もあって再現した。鮮やかな色彩と重量感が、参加者の目を奪っていた。

東さんは、この日の講師で来場する予定だったが、体調を崩し参加できなかった。東さんの、一刻も早いご全快と、今後のご活躍を祈りたい。(加納)



## 今村昌平映画監督「初代会長」を偲ぶ

副理事長 岡村 進



当協会初代会長を務められた今村昌平映画監督が5月30日に亡くなりました。

2001年に、当協会が発足したときに快く会長を引き受けていただき、創業期のイメージアップに協力していただきました。同氏は、来日外国人を対象に日本

の文化・芸能を紹介する観光情報誌「JAPAN NOW」（全国の一流ホテル5万室に無料配布）を当協会理事・河村清信氏とともに刊行し、早くから日本の観光振興に尽くしておられましたので、JAPAN NOW観光情報協会の発足には大変興味を持たれ、JAPAN NOWの名称使用とともに協力していただいた次第でした。

初代の丹羽理事長は、いずれ将来監督に「ローマの休日」ならぬ「東京の休日」という観光映画を撮ってもらえたらいいねと夢を語っておられたものです。現在は監督に代って松尾理事長のご尽力で松山善三さんが名誉顧問を務められておられます。

私は、1986年に監督が小田急の協力で日本映画学校（小田急新百合ヶ丘駅前）を設立したとき以来、20年ほどのお付き合いをいただきました。気軽に電話をかけてこれ、学校の報告などで会社によく見えてくださり、故利光達三小田急会長とは腹の太い同士でウマが合った様子で、いつも映画の話や冗談話で盛り上がっていました。晩年にいただいたハガキには学校は大変うまくいっていること、どうしても映画大学を作りたいことなどが記されていましたが、最後まで映画大学の夢を捨てておられない教育熱心な人でした。

晩年の作品、「黒い雨」や「うなぎ」には小田急も映画撮影に協力させていただき、私共も大変貴重な体験をさせていただきました。主に女、大地、棄民といったテーマで“人間とは何と面白いものか”を追求する映像作家でした。そしてカンヌ国際映画祭で「榎山節考」や「うなぎ」で2度のグランプリの栄誉に輝いた巨匠でした。

当協会はこれからも監督の志を受け継ぎ、日本の文化・芸能面からの観光立国情報の発信を続けていきたいと思えます。

棺が火葬場に向かう時、愛弟子たちの音頭による力強い万歳三唱の声々が、逞しい映画監督「鬼の今平」をたたえているようでした。

拝金主義傾向の著しい今の日本の格差社会で、監督の教える「人間主義」は若い人に力を与える貴重なものに思えます。

改めて今村昌平映画監督のご冥福をお祈りいたします。

合掌。

## イマヘイ、サヨナラだけが人生だ

JN協会理事 阿部和義

今年の5月30日に79歳で亡くなった映画監督・今村昌平さんとの「お別れ会」が7月9日の日曜日に都内の「センチュリー・ハイアット東京」で開かれた。私は、今村さんとはNPOの「JAPAN NOW観光情報協会」の会長をしていた時に知り合った。ホテルに5万冊配られている日本の観光地を紹介する『JAPAN NOW』という本を今村さんが作っていることから縁が出来た。

お別れ会は今村さんが作った「日本映画学校」が主催して行われた。この学校が小田急線の新百合ヶ丘駅の前にあるのは小田急電鉄の故利光達三社長が土地を寄付したからである。この時の仕事を担当したのが小田急の広報部長をした岡村進さんである。岡村さんは「JAPAN NOW観光情報協会」の副理事長をしている。岡村さんは映画学校を作ることから今村さんとの縁が出来た。

いままで何回も出た経済人のお別れの会とは雰囲気は違っていた。ラフな格好の老若男女が会場にきた。最初に映画学校の理事長を勤めている映画評論家の佐藤忠男氏が「今村さんは偉大な映画監督でありました。榎山節考、うなぎで2度カンヌ映画祭のパルムドール賞を受けました」と挨拶した。

その側に日本映画学校の理念が書かれた石が建てられていた。それには「人間の尊厳、公平、自由、個性を重んじる」と書かれ、そのあとに「人間というものはなんとピュアなものか、なんとうんくさいものか、なんと助平なものか」と続いていた。

その後、卒業生の挨拶の後、中学時代からの友人で俳優の北村和夫さんが「イマヘイ、イマヘイ、君が死んでから胸の中に空洞が出来ました。肉親を失ったよりもむなしさが大きい」と述べた後に「君が好きだったサヨナラだけが人生だ、で終わります」と締めた。その後に榎山節考に出演した坂本スミ子さんが「親を眠らす子守唄」を献歌した。

会場には、今村さんの写真と一緒に好きであった「すべてチンポがかたいうちだぞ」の一文が出ていた。人、とくに女を愛した今村さんらしいお別れの会であった。

### 今村監督の映画を観たい

先日、故今村昌平監督の「榎山節考」が、テレビで放映されていた。ご逝去のすぐあとだったと思う。昔、観たことがあるが、年齢を重ねてみた今村節は、一段と心に迫ってくる。

権威にこびない姿勢、時代を深く抉る内容、人間の強さ、弱さを的確に描き出す描写が印象に残る。さすがカンヌでグランプリを2度も取った巨匠である。テレビ局に、お願い。これからも、どんどん今村作品を観せていただきたい。(K)

## JN協会5年の歩み(抜粋)

2001年4月発足したJAPAN NOW観光情報協会は、6年目に入り順調に活動を展開しています。8支部に増えた過程、これまでの歩みを振り返ってみます。

### JN協会の活動目的

21世紀は世界的な観光交流が拡大し、「観光の世紀」と言われています。政府も官民一体で振興に取り組んでいます。JAPAN NOW観光情報協会は平成13年4月に「都市再生・観光振興・環境保全」を目的としたNPO法人として石原・東京都知事から認証され、活動しています。日本が観光立国として発展するためには、従来の観光振興だけでは限界があり都市の再生、活性化による地域経済の振興や環境保全が必要です。

当協会はこの理念のもと、市民レベルの「第三の社会セクター」(NPO)の立場から既存の「第一の社会セクター」(国、自治体など公的機関)や観光、鉄道、航空、電力、ゼネコンなどの「第二の社会セクター」(営利法人)が発信する都市再生・観光・環境保全情報の補完に取り組み「賢い旅行者・消費者」の育成に務め、国や地方自治体、経済団体への提言も行い、成果をあげています。

### JN支部の設立

- ・新宿支部(2001年4月、片山文彦・花園神社宮司が支部長)
- ・北陸支部(2002年10月、水野卓哉・北陸鉄道会長が支部長)
- ・立教支部(2003年12月、支部長は学生会員の持ち回り)
- ・九州支部(2004年3月、長尾亜夫・西日本鉄道社長が支部長)
- ・中部支部(2004年7月、須田寛・JR東海会長が支部長)
- ・神戸支部(2005年3月、岩田弘三・神戸商工会議所副会頭が支部長)
- ・北海道支部(2005年11月、JR北海道会長の坂本眞一氏が支部長)
- ・四国支部(2006年4月14日、JR四国会長の梅原利之氏が支部長)



写真(発足メンバー)

### JN協会の活動実績(講演会)

- 第1回:「国際観光を楽しむ」 平成13年10月22日(月) 基調講演:向山秀昭氏(国際観光振興会長)
- 第2回:「都市の活性化と国際観光」 平成14年1月31日(木)  
講演者:須田寛氏(東海旅客鉄道会長)、カトリーヌ・オーデン氏(フランス政府観光局長)
- 第3回:「都市の交流と国際観光」 平成14年5月21日(火) 講演者:羽生次郎氏(国土交通省国土交通審議員)
- 第4回:「北陸新幹線と地域振興」 平成14年10月4日(金) 於:金沢市 講演者:松尾道彦氏(鉄道建設公団総裁、当協会副理事長)
- 第5回:「内外経済事情」 平成14年11月21日(木) 講演者:渡辺 修氏(日本貿易振興会理事長)
- 第6回:「激動する航空業界の現状と今後」 平成15年5月30日(木) 講演者:野村吉三郎氏(全日本空輸会長)
- 第7回:「江戸文化と大道芸」 平成15年 8月10日(日) 於:新宿・花園神社 シンポジウムのパネリスト:  
片山文彦氏(JN協会新宿支部長)ら4名。
- 第8回:「観光立国と箱根の魅力」 平成15年9月4日(木) 基調講演者:中村徹氏(日本観光協会会長)。  
討論者:山口昇士(箱根町長)、金澤悟(国土交通省観光部長)、福川伸次(電通顧問)の各氏。
- 第9回:「九州新幹線の開業に向けて」  
平成16年3月1日(月) 於:ホテル日航福岡 講演者:高山博文氏(鉄道運輸機構九州新幹線建設局長)
- 第10回:「日本経済の再生と観光立国」 平成16年5月27日(木) 講演者:福川伸次氏(元通産事務次官)
- 第11回:「中部国際空港の開港と観光交流」および「愛・地球博の成功を目指して」  
平成16年7月15日(木) 於:名古屋市 講演者:平野幸久氏(中部国際空港会社社長)、  
中村利雄氏(万博協会事務総長)
- 第12回:「観光立国と国の安全」 平成16年12月16日(木) 講演者:国松孝次氏(元警察庁長官、前スイス大使)
- 第13回:「21世紀は大名古屋圏の時代」 平成17年1月25日(火) 於名古屋市・銀行協会ホール  
基調講演:福川伸次氏  
パネラー:奥野信宏、安原敬裕、須田寛、水尾衣里の各氏
- 第14回:「サッカーと観光立国」 平成17年5月24日 講演者:鈴木昌・リーグチェアマン(JN通常会員総会のあと) 於ホテルKKR
- 第15回:「大九州圏観光フォーラム2005」 平成17年9月21日(水)。福岡市の西鉄グランドホテルで。渡辺修・ジェットロ理事長ら5人講師
- 第16回:「21世紀は大北海道圏の時代」 平成17年11月08日(火)。講師:電通顧問の福川伸次氏(元通産事務次官)、  
照明デザイナーの石井幹子氏、国土交通省総合観光政策審議員の柴田耕介氏ら4人。
- 第17回:「大四国圏の活性化と将来展望」 平成18年4月14日(金)。講師:機械産業記念事業財団会長の福川伸次氏ら3人。
- 第18回:「地球規模の観光大交流時代ですよ」 平成18年5月19日(金)。第5回会員総会記念講演会。講師:岩村敬・前国土交通省事務次官、マリ・クリスティーン・異文化コミュニケーター
- 第19回:「大中部圏の広域観光と北陸新幹線の建設」(観光フォーラムin金沢) 平成18年7月14日(金)。講師:須田寛(元JR東海会長) 金澤・鉄道運輸機構理事(新幹線担当) 約200人参加  
「食・心・動の三育による街おこし」 7月15日 石川県かほく市・河北亭。JN北陸支部主催。松尾理事長らが講演。

## 東京 電が発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

### カジノは健全な娯楽!!

世界130カ国で行なわれている、と強調

自民党観光特別委員会

カジノ・エンターテインメント検討小委員長

岩屋毅（いわや・たけし）氏



大分県別府市出身。

1981年3月早稲田大学政経学部卒。衆議院議員秘書のあと、大分県会議員を経て、1990年に衆議院初当選。自民党国防部長など勤める。当選4回。48歳。

#### - 現在、自民党のカジノ・エンターテインメント検討小委員会の委員長として検討を進めていますが別府出身と関係が有るのですか？

温泉地の別府の出身ですから、この問題には関心がありました。委員長になったのはそれとは関係がありません。「国際観光産業としてのカジノを考える議員連盟」が作られて野田聖子さんが会長で、私は事務局長を勤めていました。野田さんが郵政民営化の問題で自民党を離れてしまったので、私が愛知和男・観光特別委員長から「やれ」と命じられて就任しました。

#### - 現在ほどの程度まで検討が進んでいるのでしょうか？

6月14日にカジノの合法化に向けて基本方針を作りました。それによるとカジノを「外国人観光客向けの観光資源と位置付けて、税収や雇用の増加、地域振興に役立つ」としています。さらに「カジノ管理機構」を設けて規制や監視をします。また、運営をする人を決めるために「カジノ管理委員会」を作ります。この委員会には有識者に入ってもらいます。当面は2、3箇所から始めて最大でも10箇所程度にします。

#### - 反対論も強いと思いますが。パチンコ業者が反対していると聞いていますが。

いや、そんなことはありませんよ。パチンコ業界も賛成してくれていると聞いています。それよりもカジノが青少年の教育の点で問題があるという反対が出ると心配しています。そのためにはカジノ場内や周辺に現金自動出入機（ATM）の設置を禁止したり、日本人の利用時間の制限を設けるなどの検討もしていきます。

#### - 世界的に見てカジノは健全な娯楽と見られているのでしょうか？

現在、世界130カ国でやられています。韓国では外人だけが出来るウォーカーヒルだけでなく韓国人

ができるカジノをカンウォンランドに作る計画と聞いています。ラスベガスなどは今や子供達も遊んでいる健全な娯楽場になっています。それだけに日本のカジノも新しい観光資源として育てていきたいものです。（聞き手 阿部和義）

### 5百万人の交流増が目標

初の日中韓観光大臣会議で合意

日本、韓国、中国の観光担当相の初めての会合が2006年7月2日、北海道阿寒湖畔のホテルで開かれた。歴史認識問題で政治関係はギクシャクしているが、観光分野で協力するために開催された。この結果、観光分野での協力を強化することで一致した。

現在の3カ国間の旅行者は05年で1248万人だが、これを2010年までに500万人増やして、1700万人以上にすることで合意し「北海道宣言」に盛り込んだ。

このほか、青少年交流、姉妹都市交流などを増やすほか、毎年持ち回りで大臣会合を開くことを決めた。

この会議には日本から北側・国交相、中国からは邵・国家観光局長、韓国から金・文化観光部長官が出席した。

### 国交省事務次官に安富氏

国土交通省は7月11日付で幹部人事を発令した。旧建設省出身の佐藤事務次官の後任には、旧運輸省出身の安富正文国土交通審議官が昇格し、運輸、建設のたすきがけ人事となった。

技監には谷口博昭道路局長、国土交通審議官には春田謙官房長と山本繁太郎住宅局長が就任した。航空局長は鈴木久泰氏、鉄道局長には平田憲一郎氏が昇格した。

### 『ふるさとテレビ』が設立一周年

NPO法人『ふるさとテレビ』が設立一周年を迎え、7月7日東京・有楽町の「よみうりホール」で、「今、これから、ふるさとが面白い。ふるさとの元気を語ろう!」と題する記念シンポジウムが多数の参加者を得て開かれた。

総務庁長官も務めた水野清氏が「地方は中央の景気対策の犠牲になった」と題しての基調講演。引き続き、慶大教授の島田春雄氏がコーディネーターとなって、アン・マクドナルドさん、大竹美喜氏、桂由美さんら8人でのシンポは、観光問題にも話題が及び、大変面白い集会だった。全容をお伝えできないのが残念である。

『ふるさとテレビ』は、インターネットを使って地方の話題を、地方からボランティアのリポーターが伝えるユニークな仕組み。いま、リポーターを募っている。JN協会会員の角廣志氏が副理事長。岡村進、阿部和義氏も会員。（加納）

## 観・光・人・国・記

## 白山市全体を「庭園都市」に 豊富な観光資源を活かすプラン作り進む 角（かど）光雄 白山市長



1973年、松任市議、議長を経て1981年石川県議会議員、1997年同議会議長。1998年10月松任市長に。2期務めたあと、市町村合併で『白山市』が誕生したことに伴い、2005年3月、同市初代市長当選。75歳

市町村大合併ブームの中、2005年2月に8市町村で誕生した『白山市』。石川県を南北に縦断しており11万2000人余を数える人口は、隣接する金沢市に次ぐ県下第二の都市である。

角光雄市長は「まあ、日本には他に無いわね。標高2702mの霊峰・白山から流れ下り日本海に注ぐ72キロの一級河川・手取川をそっくり取り込んでいるような市は。晴れた日に新庁舎屋上に上がると、雪を頂く白山、日本有数の急流・手取川、そして日本海という大パノラマが一望できるのだから」と、早速PRなさる。

それだけに、観光資源は豊富すぎて、一つひとつ説明していると紙面が尽きるが、少し列挙してみたい。白山麓地区は国内有数の豪雪地帯で、住民の手づくりによる『雪だるままつり』、恐竜の化石が出土する化石壁、固豆腐や地元の野菜を使った報恩講料理も。現代美術工芸作家の活動拠点となっている吉野工芸の里と白山スーパー林道、国指定重要無形民俗文化財の文弥人形浄瑠璃『でくまわし』も一見の価値がある。また、加賀一向一揆の最後の砦となった『鳥越城跡』があり、復元が進んでいる。不動滝と縄文遺跡そして河内千丈温泉。

鶴来地区に入ると、全国2700を数える白山神社の総本宮『白山比咩神社』、パラグライダー等のスカイスポーツのメッカ『獅子吼高原』。

日本海に面した美川地区には、一時県庁が置かれたことで、『石川県』とされた史実（当時石川郡）にちなみ、その跡地に当時の知事室を再現した『石川ルーツ交流館』がある。

そして、白山市の中核となった松任地区は、日本一の和太鼓を作る世界的にも有名な太鼓メーカーがあり、『朝顔や つるべとられてもらひ水』の句で知られる女流俳人『加賀の千代女』の出身地。

このほか、市内には日本一の枺の木で、国の天然記念物に指定されている『太田の大トチ』をはじめ、あちこちに巨木が残る。菊姫、手取川、天狗舞といった銘酒は、全国的に知られる。

「資源が多すぎて嬉しい悲鳴？」と聞くと、角市長は「これだけの資源を生かさない手はあるまい。現在、市町村では珍しい観光推進部を設け、観光マスタープランづくりに取り組んでいる」という。合併の効果をあげるためにも、お手並みを拝見したい。

白山市には、2015年に金沢市まで延伸される北陸新幹線の車両基地ができる。「金沢に近すぎて新幹線の駅を、というわけにはいかないわな。だから、在来線の松任駅前を文化ゾーンにして、文化ホールや市民工房、千代女に因んだ俳句会館を作る。この庭には、篤志家から寄付された、そんじょそこらに無い庭石がある。できたら寄ってみて下さい」と勧められた。8年後を楽しみにしよう。（加納）

## 「おもてなしの心で」盛り立てる 老舗料亭『つば甚』の若女将・鏝正美さん

鏝（つば）正美さん、典型的な加賀美人。観光都市金沢を流れる犀川を見下ろす老舗料亭『つば甚』の若女将である。



もともとは、加賀藩を興した前田利家公が尾張から金沢に入った際、刀の鏝師として連れてこられたことから歴史が始まる。ある日、3代目甚兵衛のところへ墓参りの前田公が休憩に立ち寄った。その時、いわば趣味で作っていた料理を供したところ大変喜ばれ『つば甚』の名を許されたのが、この屋号。250年前のことだという。現在の当主・鏝一郎さんは16代目に当たる。

近代では、伊藤博文をはじめ、川端康成、湯川秀樹、三島由紀夫、吉田健一らの宿でもあった。だから、伊藤博文の書が架かる部屋があるし、これらの方たちの手になる色紙とか「お宝拝見」に事欠かない。料理を盛る器も、逸品揃いだ。金沢は利家公以来、戦乱に巻き込まれることなく、太平洋戦争下でも戦災を免れた。だから、街中“お宝だらけ”とも言われる。昨今のお宝ブームで金沢に目をつける骨董商も多く「蔵ごと買いたい、と言って来る方もいるのですよ」と正美若女将は苦笑する。

話は、ざっと10年前に飛ぶ。筆者（加納）が金沢で勤務していた時、大学で同じクラスだった連中10数人と『つば甚』で昼食をとった。いつもなら弁当なのだが、若女将の好意でミニ懐石風にアレンジしてくれた。『つば甚』ラベルの日本酒も美味しく、1時間の予定が3時間近い“大宴会”に。今年2月、月刊「文芸春秋」のグラビア「金沢 伝統を継ぐ人々」に、若女将も掲載された。しばらく、当時金沢にきた友人からの電話が続いたものである。

『つば甚』では治部煮やごり料理など加賀料理主体で、夜は一人ウン万円の会席となるのだが、「料理だけが、ご馳走ではありません。（100年を超える本格的な木造建築、庭、犀川の眺望といった）空間を楽しんでいただくこと、さらには“おもてなしの心”で、ゆったり過ごして下さるよう心がけています」と正美さん。10年前の古い話を持ち出したのは、イヤな顔一つ見せず、独楽ねずみのように働いていた若女将の姿を思い出し、「ムべなるかな」と改めて感心したからである。（加納）



## 小林天心さんにお会いして

立教大学観光学部3年 新井 真希

5月24日、小林天心さんにお会いしました。天心さんはとても気さくな方で、旅行業に関することはもちろん、人としてのモラルについてのことなど、色々なお話をしてくださりました。

まずはツアー作りに関するお話を伺いました。特に、とびっきりの東京ツアーについてはとても参考になりました。どのようなツアーかという、まず東京タワーの展望台に上り、高いところから東京を見渡す。それからお台場を見物後、水上バスで浅草へ行き、次に新宿、最後に都庁の景で終わるというものでした。観光客に東京の多様性、つまり「オーシャンフロントの東京・自然の東京・伝統の残る東京・夜の東京」を見てもらえるフルコースです。

また、初めに高い場所から観光案内をすると、外国人の方も全体的な東京のイメージがつかめて、ツアーがスムーズに進行するのだそうです。この高いところから出発するという考えは私たちにとって目から鱗でした。私たちが作った旅程は、最後に東京タワーから夜景を眺めるというもの。高い場所でツアーを終えるという発想はあっても、その逆は考えていなかったからです。自分がゲストだったらどんな風に見たいか想像してツアーを作ることが、やはり大切なのだということを再認識し、とても勉強になりました。

そして、日本人のモラルについても話し合いました。天心さんは、携帯電話が現代人に与えている影響に対して大変な問題意識を持っておられました。携帯電話は脳の思考能力を低下させると言われて久しいですが、これについて、テレビに続き、携帯電話による「第二次総白痴時代」が来る、と予言されていました。携帯不携帯運動が絶対に起こる、とも。携帯電話で意味のないやりとりをし、女性は電車内で化粧をし、親は子供の躰も出来なくなりつつあるのが、今の時代です。身が美しいと書いて「しつけ」である。この言葉には我が身を振り返って考えさせられました。

最後に、今回天心さんとお話をして、とても強く印象に残っていることがあります。それは、天心さんの「他人の話を聞く姿勢」でした。話し上手は聞き上手、その言葉のお手本を間近に見ているようにした。本当にありがとうございました。

## 六月病を超えて

立教支部長 田久保 万里夫

早いもので4月に社会人の仲間入りをしてから3ヶ月が過ぎました。この3ヶ月は次から次へと新たなことが舞い込んできて本当にあっという間でした。五月病にかかる暇もなく日常の業務に慣れることに四苦八苦していました。しかし、ある程度仕事も覚え余裕が出てきた六月に思わぬ、やる気停滞前線につかまってしまったのです。

やはり入社する前というのは、その会社に対して過度の期待と夢を描いてしまうものです。私も例外なく、学生気分のままに高らかな理想を抱いて社会人1年生となりました。しかし、徐々に仕事を覚えたり先輩方の話を聞くにつれて、「こんなはずでは・・・」という思い

が募ってきました。私は旅行会社に入社したのですが、旅行の華々しいイメージとは裏腹に日々の業務は非常に単調で地味なものでした。ある程度覚悟はしていたのですが、1日中パソコンの前に座って航空機の予約を取るという仕事内容には正直滅入ってしまいました。さらには追い討ちをかけるように先輩社員

から会社の裏の部分の話を聞かされ気分はどんどんブルーになっていきます。

1週間に1枚の割合で退職者への寄せ書きが回ってくるという現実には、旅行業界の厳しさをつくづく実感しました。そうして6月は朝起きるのが憂鬱な日々を過ごしていました。

しかし、梅雨明けと共に私の気持ちも前向きな方向へと変わっていったのです。ある日、朝礼当番の際に、社内のどんよりとした雰囲気を変えよ

うと一つコメントをはさんだのですが、それを聞いた上司の方が「だんだんみんなの前で話ができるようになってきたじゃないか」とほめてくれたのです。頑張っていれば見ている人はちゃんと見てくれているのだということを実感しました。会社や周りが何かをしてくれることを期待していたのでは状況は何も

変わりません。そうではなく、自分から周囲を変えていこうとしなければいけないのだということ学びました。そして結果は必ずついてくるのだと。六月病を乗り越え、私の社会人生活はようやく本当のスタートを切ったのでした。



「外国人留学生ツアー」、6月24日は  
藍染めツアーと生田緑地



月2回行っている外国人留学生ツアー、  
5月21日はイチゴ狩りと川越ツアー



## フォレストクラブとは？

### 旅をするアマチュア写真家の会

写真家 森 一六正(JN会員)

「フォレストクラブ」は風景、ネーチャーのただ中に人物(女性)を配して、双方のコンポジション、バランスの相乗で画に多少の感動、情緒情感を表現しようと試みて、旅するアマチュアカメラマンのクラブです。

平成元年創立、京セラ・コンタックスサロン銀座で6回の写真展を開催しています。JN会員の写真家・森が専任講師として指導にあたっています。

日曜日に活動するクラブですので、関東近県でロケーションができて、車で移動し夕陽まで撮影できる日帰りの範囲に限られています。年に1度、土日の一泊撮影も計画します。

ですから、ロケハンは絶対欠かせません。右欄の写真(草津白根山)はロケハン写真です。幽玄にして霊元、人を寄せ付けぬ厳格な白根山の風貌と凍る荒野、6月にまだ雪渓が残って荒涼です。

ここに女性モデルを立たせたいのです。どんなコスチューム、メイキャップが合うのか、フォレストクラブはネーちゃんフォトとか揶揄されるクラブです。風景ではなく、バックグラウンド(BG)を求めて、風光明媚、由緒、名所は避けています。モデルを活かせる風景ですので、BGなんです。

ピントは人物、BGはピントが外れるケースが多いのです。でも、観光地の外れとか近隣によくポイントを見つけます。白根では湯釜は無視、雪渓を渡

り、左へ20分歩くと様相はこの風貌となります。

フォレストクラブには厳密なコンセプトとかはありません。撮影カメラマンがモデルとBGとの相関で感じた、思い付いたイメージでアングルを決めてフレーミングします。画面内で占める人物の位置、大きさを決めます。BGとの広さとの比で意味性が変わります。選択はカメラマンが決めます。

下に掲載した作品は「フォレストクラブ写真展2006」展に出品した森の作品で、最初に行った場所が濃霧でアウト、三浦半島の海に逃げた日の撮影。暗雲襲来で予想外なシチュエーションに恵まれて、スローシャッターで舞い上がる髪をブラして撮っています。大団円を控えてドラマチック？

HP、<http://forestclub.net>にて写真展作品、最新情報、ブログなど掲載しております、アクセスをお待ちしております。



上)幽玄にして霊元な白根山、ロケハン写真。  
下)舞い上げる髪  
撮影：森 一六正

## C O L U M N

### 八重山の素朴さと自然保護

つい最近日本の南端、八重山諸島へ行って来た。初めての訪問だったが、何事も素朴だということは、かねがね承知していた。手のつかない澄明な自然もさることながら、島の人びとの気持ちもまさに「素朴」そのものだった。そして、その素朴さの中に意外な愛郷心としたたかさを見て取った。

いま世界的に環境破壊が心配されている中で、西表島では絶滅寸前の「イリオモテ山猫」保護がすべてに優先している。街灯、交差点、舗装道路、道路の側溝等、人間の生活より野生動物を優遇している。開発は制限され、道路は拡張しないし延伸もしない。従って、車は少なく、信号は必要ない。にも関わらず、島に信号機が2箇所ある。子どもたちが知らない困るとの教育的配慮で、車のあまり通らない交差点に信号機が設置されているのだ。なんと牧歌的で微笑ましい話だろうか。

牛車で案内してくれる竹富島の観光も、御者と台車を曳く牛の阿吽の呼吸が見ていて楽しい。狭い路地内クランクを台車を傷つけないように、牛が自分から大きく舵を切るところなどは、感心してしまう。島ではTVの民放が放映されたのは、平成になった最近のことで、初めて「タモリの笑っていいとも！」を見た島の人たちは、当初「本土の人はこんな番組を見ていたのか」とびっくりしたそうである。

帰ってから作家高田宏氏から聞いた話だが、竹富島ではかつて九州のホテル資本が進出する計画があったそうだ。美味しい話だったが、ひとびとは結束して上陸させなかったという。ホテルがあれば大勢の観光客が訪れ、島の経済が潤っただろうとの甘い話には、島は自分たちのものだ、来たいなら、石垣島から日帰り(高速船で片道約20分)で来れば良いと愛郷心で島の自然を守った。美しい自然と島びとの素朴さは何事にも代えがたい。

(近藤)

## お得な情報

### 「日本で見つけた 世界おいしい物語」

#### カンボジア料理 「アンコールワット」

仕事で代々木近辺を歩いていた時にみつけた。駅の向かい側の裏通りにあるが、徒歩1~2分。プレートに1982と印字してあるということは、既に20年以上東京に根付いているらしい。

入り口に大きな黒檀の像があるので目立つレストランだ。カンボジアはタイとベトナムにはさまれ、米、野菜、香辛料と魚をふんだんに使ったレシピが多い。東南アジア料理共通の酸味と甘味、辛味をもつが、タイほどピリッとした辛味は無い。

ヘルシー感のあるサラダがおすすめで、牛肉たたきの辛いサラダは、牛のたたきとキュウリを合えたもので唐辛子レモンの酸味がきいて900円。海老サラダも鶏肉の辛いサラダもある。これらは日常食らしい。反対に、高級食材を使った「蒸し白菜とアワビのあんかけ」は、醤油とゴマベースの味付けで1200円。カンボジアでは華僑が経営する贅沢なレストランでは人気だという「蟹爪と春雨の火鍋焼き」は、1000円。その他カンボジア風お好み焼きが980円。

コースメニューは2000円からで、例えば、生春巻き、特別上げ春巻き、鶏肉辛サラダ、カンボジア風にもち、五目チャーハンそれに蟹爪と春巻きの火鍋焼きのセットとなるので割安である。デザートはココナッツアイスクリーム480円など。

住所は、渋谷区代々木1-38-13 住研ビル1F

電話は03 3733 3019営業時間は年中無休で、ランチが11時から14時、ディナータイムは17時から23時。  
(大島 慎子)

#### 日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

## JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいていた「JAPAN NOW」誌は、2005年度版より日英全文対訳となり、学校教材としてもますます高く評価されています。三月末に出来上がった2006年度版は、マンダリンオリエンタルホテル東京、グランドハイアット東京など、東京を中心に新たに開業したラグジュアリーホテルを含む110館55,000室の客室に常備されます。



日本文化の再発見を通じ新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって日本のいまを生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。

2006年度版は、日本人の伝統的な美意識を時間という視点からとらえなおした「ときうつろい」と、現代の日本がいかにしてつくられたかを問い直す「近代の面影」という2つの特集

を中心に構成されています。

1部2000円(送料別)で購入できます。お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。電話・FAX 03-3536-1751

### 道の駅・どんぶり会館

岐阜県土岐市のセラミックレインボーラインに、土岐美濃焼街道・道の駅「どんぶり会館」がある。なんともユニークな名称だが、その建物も日本における器文化の原点が「どんぶり」であるということ、外観をどんぶり型にしている(写真)。



その建物は天気の良い日は朝日に照らされ黄金色に輝き、夜はライトアップにより幻想的な雰囲気をかもし出す。その施設は美濃焼のアンテナショップとして茶碗、皿、カップ、

どんぶりなど3800アイテムの商品であふれている。

価格は市価の30%~40%引きの産地価格で販売している。また展示コーナーや作陶教室などのアミューズメント機能もあり窯元や陶芸作家の情報も提供している。レストラン「どびん」の献上丼弁当は、かやくごはんの上に季節の具を乗せたどんぶり弁当で、そのどんぶりはお持ち帰りできるお得なメニュー。「どんぶり会館」のコンセプトのひとつとして来訪者をはっきりさせない、来訪者をワクワクさせる仕掛け作りがある。

一年を通じて、お誕生日の方に一輪挿しプレゼントやラッキーナンバー同じ方へ味噌かつ丼のプレゼントなどがある。また、一流ホテルに負けないデラックスイレは内外装が織部焼きレリーフで飾られ入り口のショーケースには美濃焼などの陶芸作品が展示してある。女性トイレは、パウダールーム付で、ドライブの立ち寄りでも落ち着いてお化粧直しができ、着替えをするスペースもあり、24時間利用できる。陶芸売場は、午前9時半~午後6時。レストランは、午前8時~午後8時。火曜日休館(祝日の場合は翌日)問合せ:電話0572-59-5611

(JN会員 堤 りり)

#### [会員募集]

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

へご連絡ください。

#### 会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2006年9月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2006年9月25日。締め切りは9月19日。

# NPOから提案します

## ジャパンナウ観光情報協会への期待 その26

### 観光立国推進基本法案

JN協会理事 寺前秀一

観光立国推進基本法案が164国会に提出され、継続審議となっている。教育基本法から数えて戦後五番目の基本法にもかかわらず、ほとんど論議されなかった、いわば忘れられた基本法であった観光基本法を実質廃止し、新たな基本法を作り出そうとするものである。

本来「観光」は規範に対して超然とし、個性を発揮しなければならないものである。規範を前提とする行政制度に根拠をおく「政策」といわれるものには相容れない部分が内在するわけである。そのうえ観光基本法は、地方は国に準じて観光政策を実施しなければならないと規定しており、極めて後進性の強い側面があった。今回の全面改正案では、国に準じる規定は「地方公共団体の区域の特性を生かした自主的な施策を策定し、及び実施する」と改められており、ようやく他の基本法と理念を共にすることとなった。

観光立国推進基本法案は国が観光立国推進基本計画を策定することとしており、観光立国の実現に関しては、国の他の計画は、この観光立国推進基本計画を基本としなければならないと規定している。これまでの観光基本法の規範性の希薄さを充足する改正内容であるが、地方公共団体の観光計画との関係では直接規定が設定されていない。この点では環境基本法と同じシステムをとっているわけであり、地域の個性を重視する観光の立場からするとバランスが取れている。

最終的には地方公共団体の独自財源が確保されなければ、個性の発揮といっても理念倒れになってしまう。国が行う補助金コンテストに応募せざるをえないため、全国基準にあわせる分だけ個性がなくなってしまうのである。地方税法は法定外普通税に加えて法定外目的税制度も設定し、しかも国のコントロールを最小限にしているが、特別地方消費税の廃止過程を振り返ると、現実には足元の観光関係者から切り崩されている。観光政策を実施するための独自財源の確保には選挙に強い首長を必要とするのである。

## ケイタイで観光案内？

### ランゲージネットが8月から供用開始へ



こんな掲示が、8月から東京・上野の動物園に目見えする。JN会員の『ランゲージネット』社が手掛けている「ボイスガイド」というサービス。その仕組みを説明しよう。

例えば、上のような掲示が、キジ舎の前にある。そこで自分の携帯電話で、日本語なら03-5644-3431に電話、繋がったらVコード（キジ舎なら200001）を押すと、キジ舎の説明が流れる。

このサービス、全国の観光地に広げて行く方針。追いかけて英語、韓国語、中国語などでも対応できるようにする。日本では語学が堪能なガイドが多くなく、つねづね訪日観光客は言葉の上での不自由さを指摘している。しかし語学ができるガイドの育成は、一朝一夕にできるものではない。

そこでJN協会は、外国観光客倍増という日本政府の方針に沿って、外国人が不自由しない観光環境を整えるための方策を支援している。（加納）

## あめりか観光通信 その6 -切手シート発売-

### “Wonders of America” 切手発売

2002年にアメリカの郵政省から発売された“Greetings from America”（アメリカからの挨拶）と題された切手シートを覚えている方は、かなりの切手通かアメリカ好きの方ではないでしょうか。

今年5月には、そのシリーズの第2弾ともいえるシートが発売されました。その名も“Wonders of America”（アメリカの驚異）。1シートに40枚の切手がデザインされて、1枚の切手代はアメリカ国内のはがき郵送料に相当する39セントです。

アメリカで最も背の高い人工の記念碑、アメリカで最も大きな湖や最も深い湖、さらにアメリカで最もおおきな爬虫類、アメリカで最も大きな陸上の動物など40に及ぶトピックがあたかもクイズのように並んでいます。

因みに上の答えはそれぞれゲートウェイ・アーチ、スペリオール湖、クレイター湖、アメリカン・ア

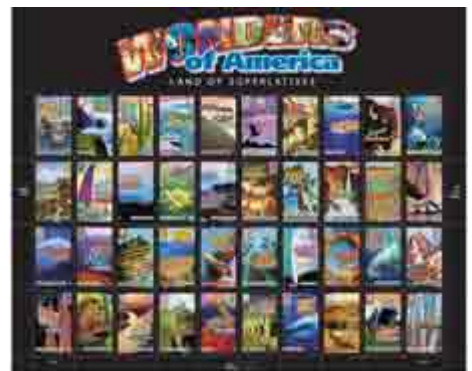
リゲーター、アメリカン・バイソンとなります。

アメリカの自然や動植物の驚異を知るには、なかなかのものと思います。絵柄も前回の“Greetings From America”と同じアーティストによって描かれています。

今年の夏、アメリカを訪れる方はアメリカからのお土産として、また記念に是非どうぞ。1シート15ドル60セント。

アメリカ旅行情報サイトが新しくなりました。アメリカ旅行が当たるクイズも始まります。

是非クリックしてみてください。



[www.seeamerica.jp](http://www.seeamerica.jp)

（JN会員 井上 嘉世子）

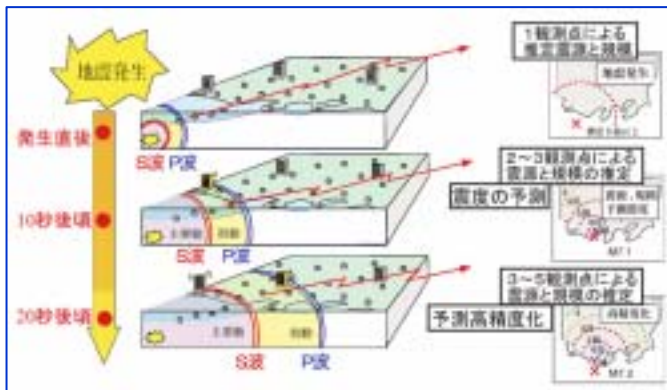
## 「P波」と「S波」

地震が発生すると、そのエネルギーは地震波となって周りに伝わります。伝わる速さは岩盤の構造や厚さ、場所にも違いがありますが、地表面近くでは縦に揺れる波が1秒間に6～7キロメートル。横に揺れる波は、3.5～4キロメートルとなっています。また縦波は小刻みに、横波は大きく揺れるために、地震が発生した時は最初にガタガタと上下（縦波）に小刻みに揺れたあとに、水平（横波）にユサユサと大きく揺れる特徴があります。

縦に揺れる波はラテン語で「最初の」という意味の“primae”（英語の“Primary”の語源）の頭文字をとって「P波」。横に揺れる波は、ラテン語で「2番目の」という意味の“secundae”（英語の“Secondary”の語源）の頭文字をとって「S」波と呼ばれています。

「P波」と「S波」は震源地を決定する際の重要な情報となり、防災にも役立てられています。例えば新幹線は「P波」をキャッチしてから、大きな揺れの「S波」が来る前に安全装置が働き、ブレーキが作動する仕組みにな

っています。また一般の家庭や企業等にも「S波」の正確な到着時刻を直前の数秒～数十秒前までに知らせる「ナウキャスト地震情報システム」が現在、試行されています。この情報は大きな揺れが来る前のわずかな時間を利用して火の元の始末や身の安全、避難路の確保をしようというものです。 日本気象協会 気象情報課 渡辺博栄



緊急地震速報と地震波の伝搬のしくみ

### 会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公表していません)

- 名誉顧問 : 松山善三 (映画監督)
- 理事長 : 松尾道彦 (日本海事財団会長、前日本鉄道建設公団総裁)
- 顧問 : 丹羽晟 (前理事長、日本空港ビルデング相談役)
- 副理事長 : 白澤照雄 (JN協会事務局長)、岡村進 (小田急電鉄 嘱託)
- 橋元雅司 (元国鉄副総裁)、大島慎子 (筑波学院大学教授)、小竹直隆 (元JTB専務)
- 須田寛 (東海旅客鉄道相談役)、横山善太 (株JALUX特別顧問)
- 支部長 : 片山文彦 (新宿支部)、水野卓哉 (北陸支部)、田久保万里夫 (立教支部)、長尾亜夫 (九州支部)
- 須田寛 (中部支部)、岩田弘三 (神戸支部)、坂本真一 (北海道支部)、梅原利之 (四国支部)

### 【団体会員】 (2006年07月25日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、池田暖房工業(株)、(株)伊勢丹、射水市 (富山県)、(株)井六園ワールド、岩田建設(株)、(株)エスシー・マシーナリ、(株)H K I アクシス、(株)大林組、隠岐の島町 (島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、国光施設工業(株)佐川サポートサービス(株)、三協アルミニウム工業(株)、(株)三普旅行社、四国電力(株)、四国旅客鉄道 (J R 四国) (株)清水建設(株)、(株)ジャルセールス、(株)J A L - D F S、(株)J A L U X、(株)J T B、(株)ジェイアール貨物・リサーチセンター、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、常盤興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、総合パーキング建設(株)、セントラルリーシングシステム(株)、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)大成サービス(株)、大成設備(株)大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中部電力(株)、ティーシートレーディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トーヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、ネスレジャパングループ、箱根町 (神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、福岡空港ビルディング(株)、富士機材(株)藤長電気(株)富士通(株)、プラネットワークス(株)、(株)フィールドサービス、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)ミルックス、(学)森谷学園、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)U S E N、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

### 特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

## JAPAN NOW

観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人: 白澤照雄 (JN協会事務局長)

編集長: 加納 隆 (JN協会理事)

発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、

地方自治体、民間企業、マスコミなど

### 編集後記

金沢でのフォーラムは2度目だが、今回驚いたのは北国新聞、北陸中日新聞はじめ地元のメディアが大きく取り上げてくれたこと。ちょうど高校野球石川県予選が始まる日とあって、関心を示さないのではないかと懸念していたが、杞憂だった。松尾理事長、白澤事務局長が事前にアポイントをとり、めったに会えないといわれる北国新聞の飛田社長や北陸中日の小室代表に会ったことも効果を生んだのだろう。そして参加者200人の成果となった。もちろん、地元支部の健闘も光った。更に言えば、誕生6年目の協会の認知度が、確実に上がっているような気がする。ますます力を合わせ頑張っていこう。(加納)